

タッチコンピュータ

TC501

クイックスタートガイド

MN-005562-01JA Rev. A



Zebra Technologies | 3 Overlook Point | Lincolnshire, IL 60069 USA
zebra.com

2026/03/23

Zebraのワードマークおよびロゴは、Zebra Technologies Corpの商標であり、世界の多数の法的管轄区域で登録されています。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。©2026 Zebra Technologies Corp.および／またはその関連会社。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/informationpolicy.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

モデル番号

このガイドが適用されるモデル番号：

- ・ TCX010 (WLAN)
- ・ TCX01G (WWAN)
- ・ TCX01J (WWAN)

TC501の開梱

このセクションでは、TC501を開梱する方法と、開梱後にすべきことについて説明します。

1. デバイスを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、輸送用の箱を保管しておきます。
2. 次のものが揃っていることを確認します。
 - ・ TC501タッチコンピュータ
 - ・ 充電式リチウムイオンバッテリー
 - ・ 規制ガイド
3. 破損している機器がないかどうかを確認します。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバルカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
4. デバイスを初めて使用する前に、ディスプレイ、カメラウィンドウを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。

機能

このセクションでは、TC501タッチコンピュータの機能について説明します。

図1 正面図と側面図

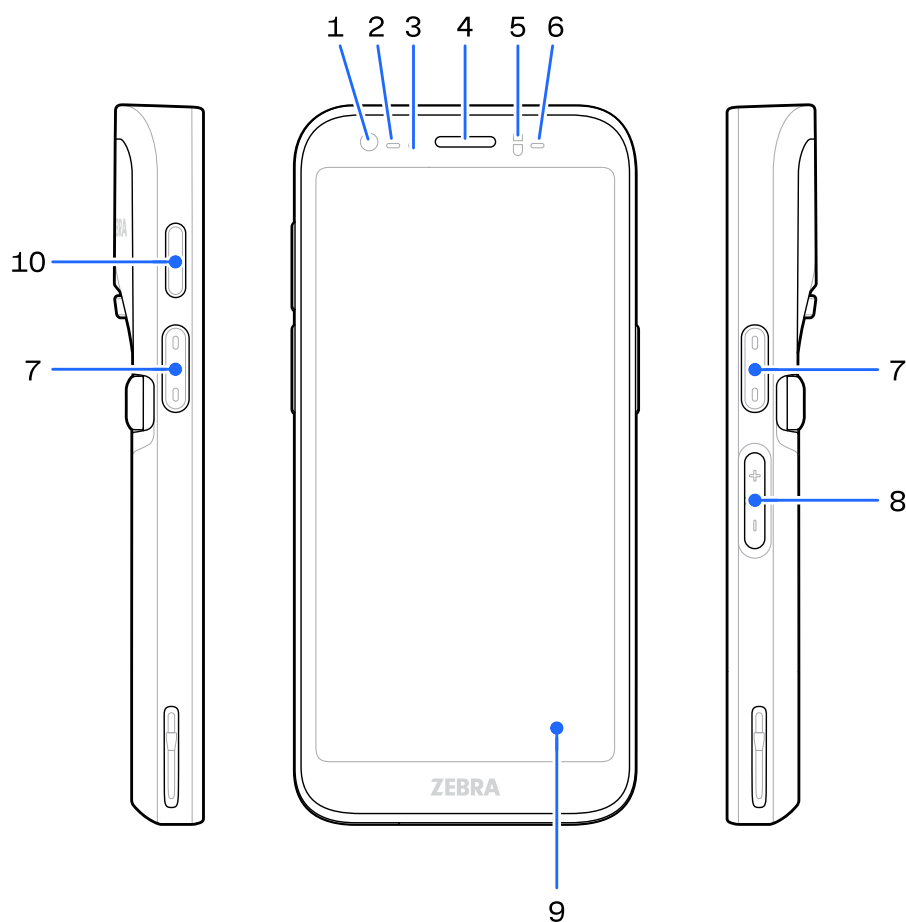


表1 正面図と側面図

番号	項目	説明
1	8MP前面カメラ	写真やビデオを撮影します。
2	スキャンLED	データ収集のステータスを示します。
3	充電LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
4	スピーカ	ハンドセットモードでのオーディオ再生に使用。スピーカフォンモードでステレオスピーカの1つとして機能します。
5	近接／光センサ	ディスプレイバックライトの輝度を制御するために、近接および周辺光を判別します。
6	スキャンLED	データ収集のステータスを示します。
7	スキャナボタン	バーコードスキャンを開始します（プログラム可能）。
8	音量上／下ボタン	オーディオの音量を上げ下げします（プログラム可能）。
9	6インチ LCDタッチスクリーン	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。

表1 正面図と側面図 (Continued)

番号	項目	説明
10	プッシュツートーク (PTT) ボタン	プッシュツートーク (PTT) 通話を開始します (プログラム可能)。

図2 背面図と上面図

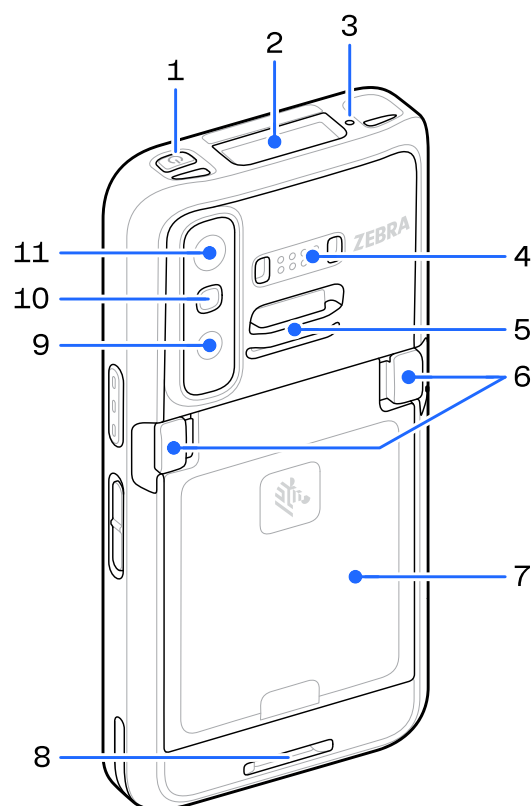


表2 背面図と上面図

番号	項目	説明
1	電源ボタン	ディスプレイをオン／オフします。ボタンを長押しして本デバイスのリセット、電源オフ、スクリーンショットの撮影、またはバッテリー交換を行います。
2	スキャナ	バーコードをスキャンします。
3	マイク	音声を録音します。
4	共通の背面IO	データ入力と出力を有効にします。
5	上部アクセサリ取り付けポイント	オプションのアクセサリの取り付けポイントです。
6	バッテリーリリースラッチ	バッテリーをリリースするためのラッチ。
7	バッテリー	デバイスに電力を供給します。

表2 背面図と上面図 (Continued)

番号	項目	説明
8	下部アクセサリ取り付けポイント	オプションのアクセサリの取り付けポイントです。
9	Indirect Time-of-Flight (iTOF) / 超広角カメラ	iTOF/超広角の写真やビデオを撮影します。  注: この機能は、一部のSKUでのみ使用できます。
10	フラッシュLEDレンズ	低照度時にカメラ用の照明として使用します。
11	50MP背面カメラ	写真やビデオを撮影します。

図3 底面図

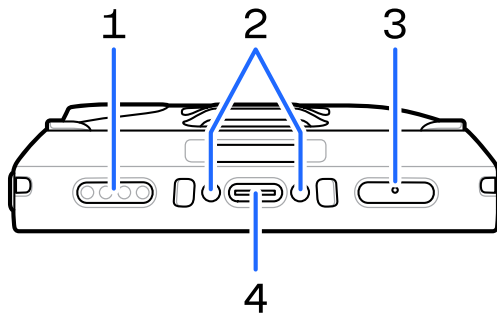


表3 底面図

番号	項目	説明
1	スピーカ	ビデオ、音楽を再生するためのオーディオ出力を提供します。スピーカーフォンモードでオーディオを再生します。
2	底面IOピン	充電に使用します。
3	マイク	音声を録音します。
4	USB-C 3.1ポート	充電（主な機能） および周辺機器とのデータ通信に使用します。

デバイスのセットアップ

このセクションでは、TC501のセットアップについて説明します。

1. SIMカードを取り付けます（WWANのみ）。
2. マイクロセキュアデジタル（SD）カード（オプション）を取り付けます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. ハンドストラップを取り付けます（オプション）。
5. デバイスを充電します。
6. デバイスの電源をオンにします。

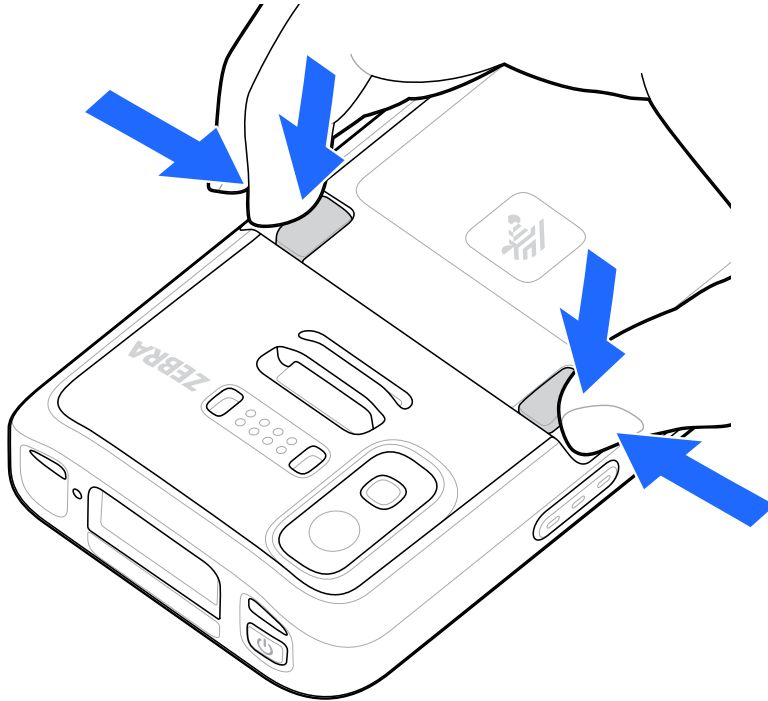
SIMカードの取り付け（WWANのみ）

このセクションでは、TC501にSIMカードを取り付ける手順について説明します。



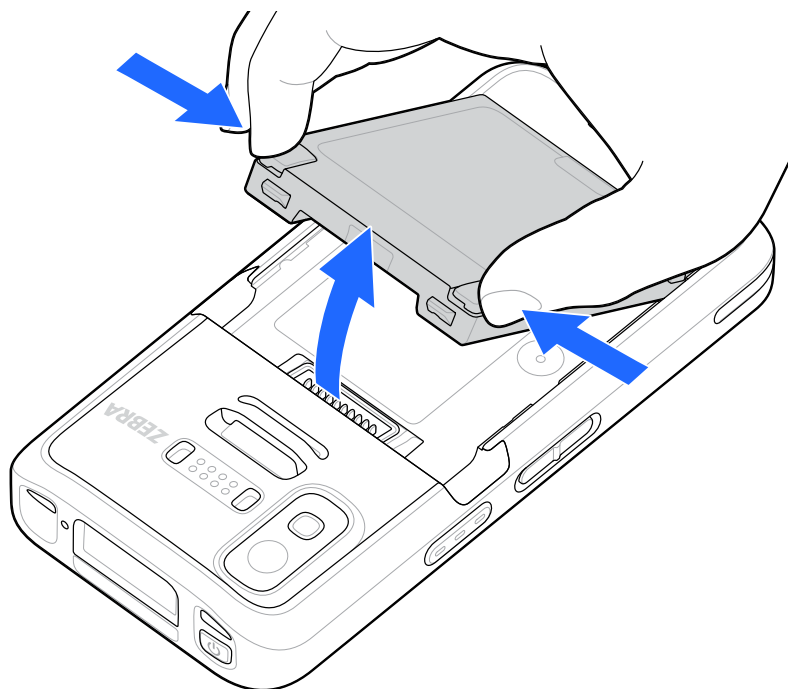
注意: SIMカードを損傷しないように、静電気放電（ESD）に関する注意事項に従ってください。ESDに関する注意事項として、ESDマット上での作業や、作業する場合の適切な接地の確認などが記載されています。

1. デバイスの電源をオフにします。
2. 両方のバッテリーラッチを内側に押します。

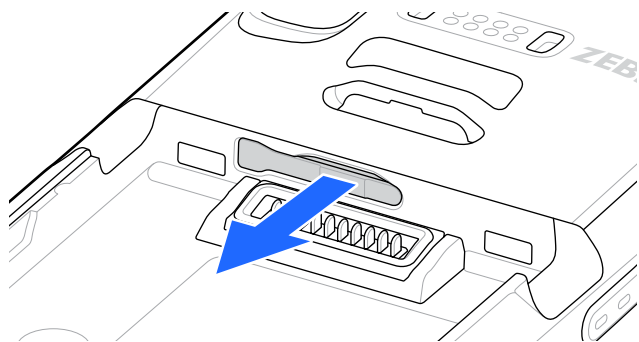


注意: バッテリーを引き寄せるときは、ラッチの下に指を差し込まないでください。ラッチが損傷する可能性があります。

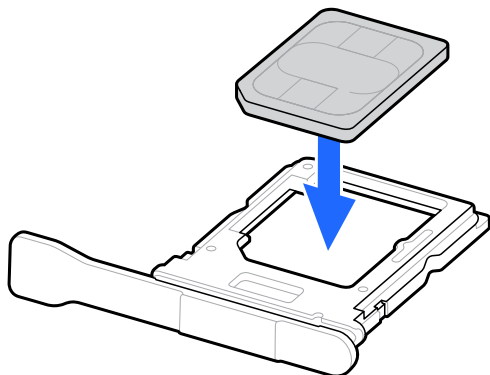
3. バッテリーラッチを握りながら、バッテリーを持ち上げデバイスから取り外します。



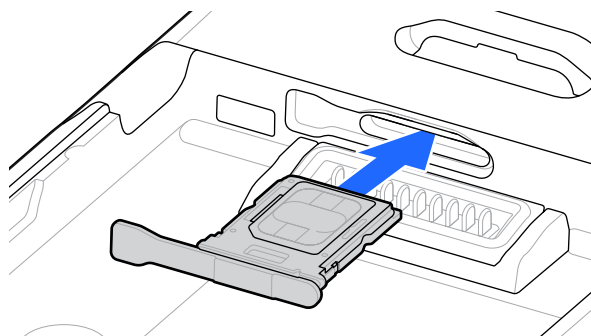
4. カードホルダーをデバイスから引き出します。



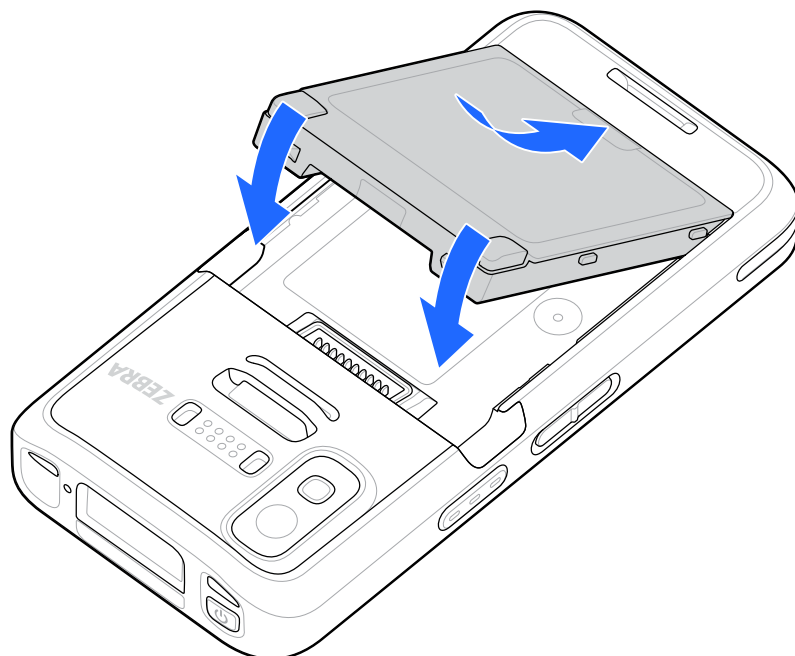
5. SIMカードをカードホルダーに入れます。



6. カードホルダーをデバイスに戻します。



7. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



8. リリースラッチが所定の位置にカチッと収まるまで、バッテリーをデバイス内に押し下げます。

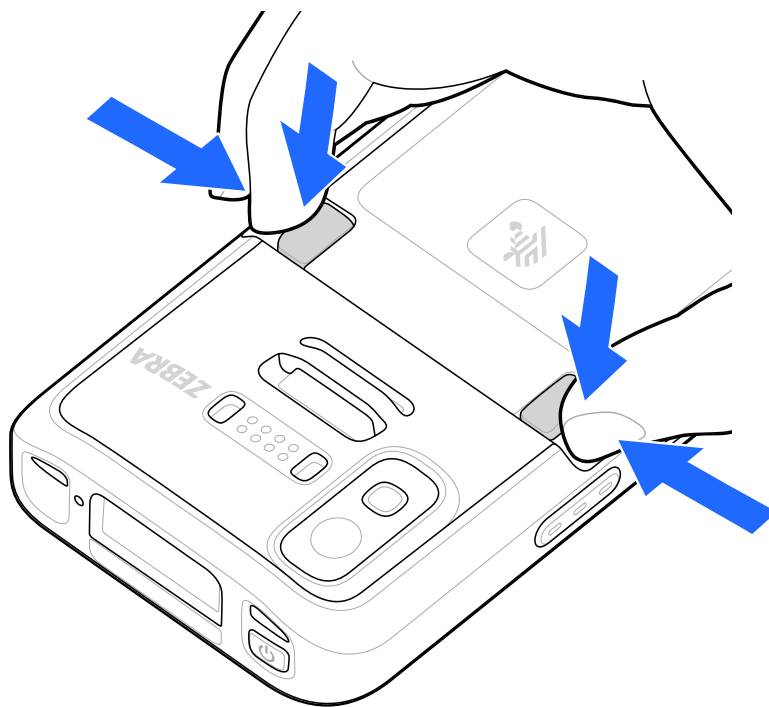
microSDカードの取り付け

このセクションでは、TC501にmicroSDカードを取り付ける手順について説明します。



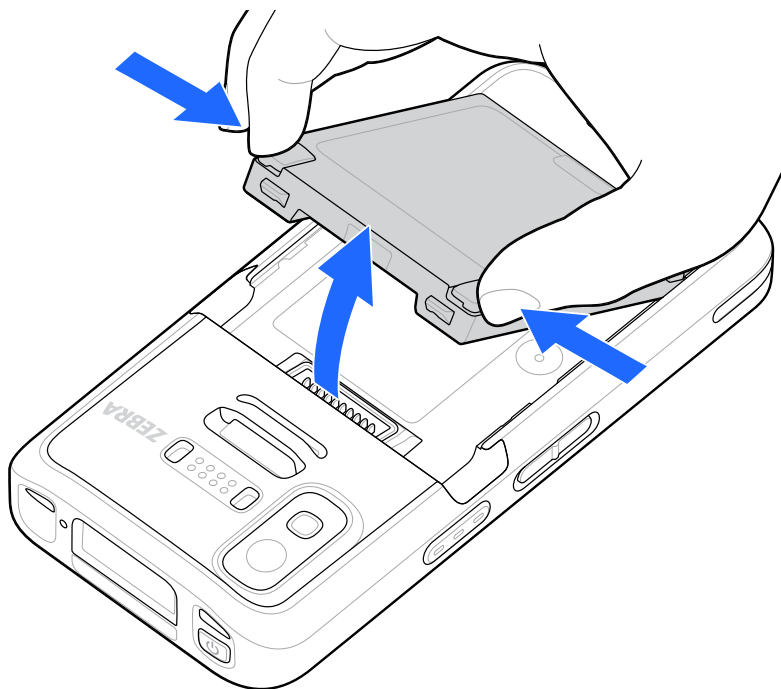
注意: microSDカードを損傷しないように、静電気放電（ESD）に関する注意事項に従ってください。ESDに関する注意事項として、ESDマット上での作業や、作業する場合の適切な接地の確認などが記載されています。

1. デバイスの電源をオフにします。
2. 両方のバッテリーラッチを内側に押します。

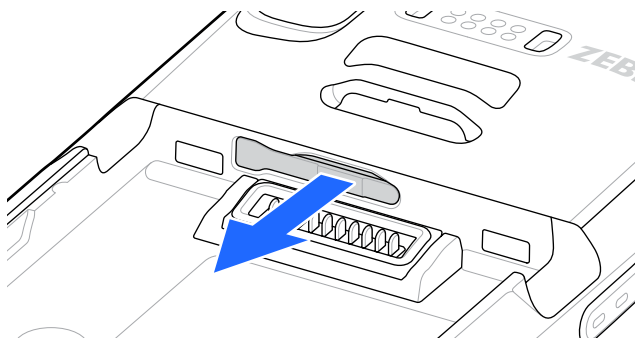


注意: バッテリーを引き寄せるときは、ラッチの下に指を差し込まないでください。ラッチが損傷する可能性があります。

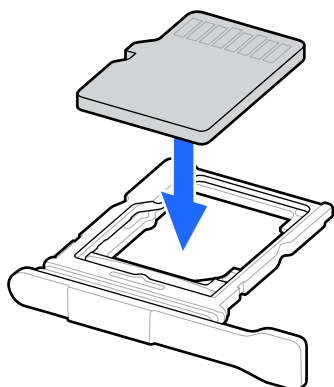
3. バッテリーラッチを握りながら、バッテリーを持ち上げデバイスから取り外します。



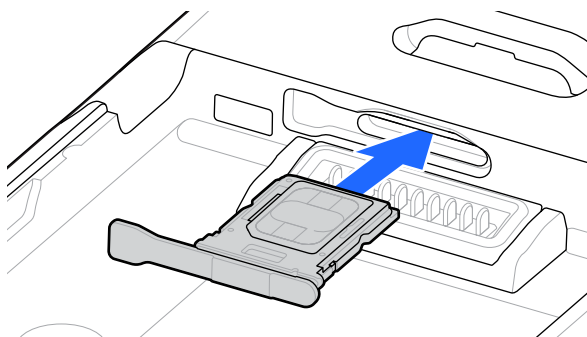
4. カードホルダーをデバイスから引き出します。



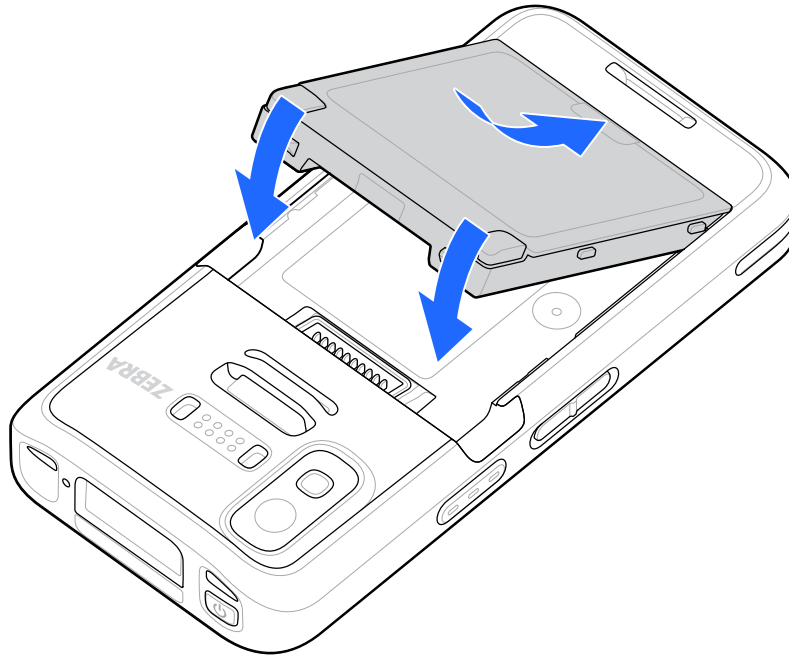
5. カードホルダーを裏返します。
6. 端子面を上向きにして、microSDカードをカードホルダーに取り付けます。



7. カードホルダーを裏返します。
8. カードホルダーをデバイスに戻します。



9. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



10. リリースラッチが所定の位置にカチッと収まるまで、バッテリーをデバイス内に押し下げます。

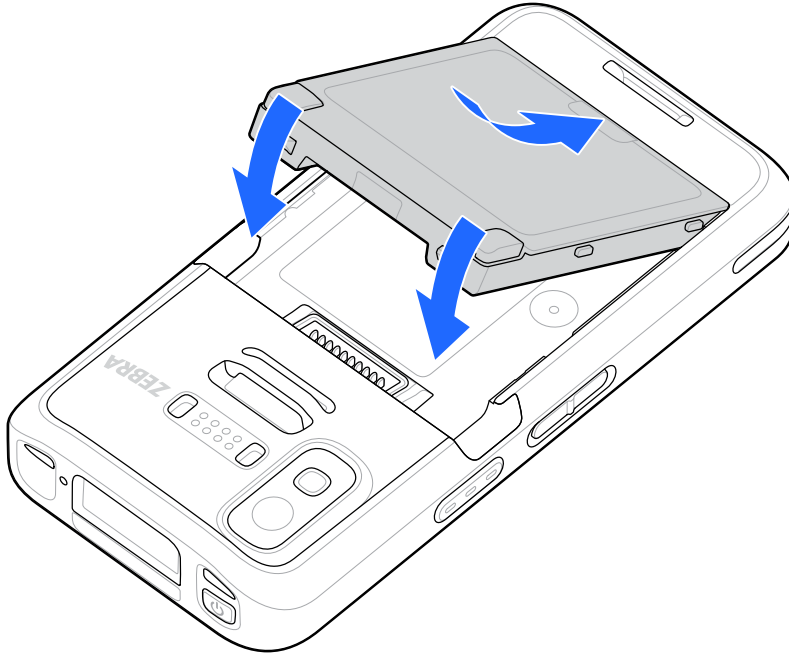
バッテリーの取り付け

このセクションでは、TC501のバッテリーを取り付ける方法について説明します。



注: ユーザーが本デバイス（特にバッテリー受け）に対して、ラベル、資産タグ、刻印、およびステッカーなどの改変を加えると、本デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。防水防塵性能（保護等級（IP））、衝撃性能（耐落下および転倒）、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。



- 2 リリースラッチが所定の位置にカチッと収まるまで、バッテリーをデバイス内に押し下げます。

BLEビーコン付き充電式リチウムイオンバッテリーの使用

このデバイスは、BLEビーコンに対応する充電式リチウムイオンバッテリーを使用します。有効にすると、バッテリーを使い切ったために本デバイスの電源がオフになっている間、バッテリーは最大7日間BLE信号を送信します。



注: デバイスがBluetoothビーコンを送信するのは、デバイスの電源がオフになっているか、機内モードになっている場合のみです。

セカンダリBLEの設定の詳細については、techdocs.zebra.com/emdk-for-android/14-0/mx/beaconmgr/を参照してください。

デバイスの充電

このセクションでは、デバイスの充電について説明します。



注: 『TC501製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

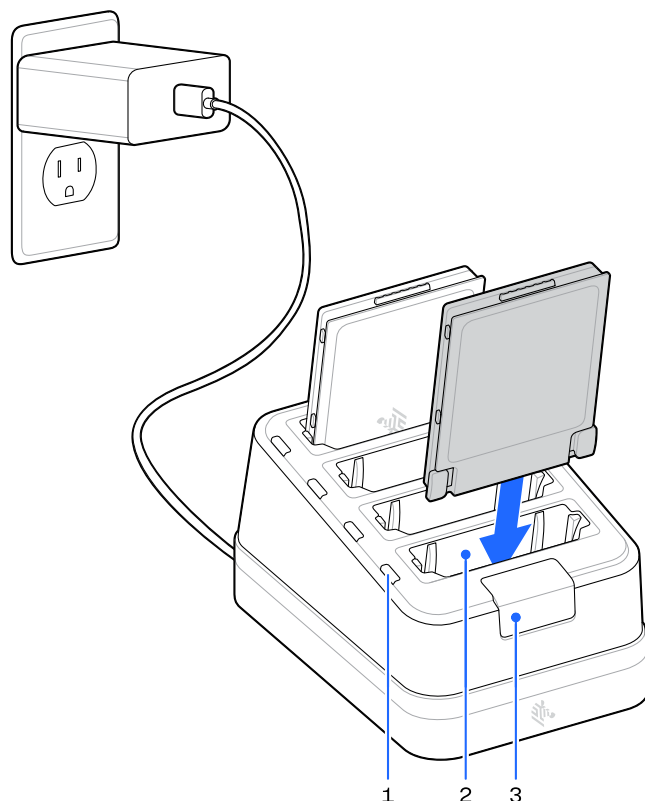
- 1 メインバッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。
- 2 デバイスをクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。デバイスの電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電／通知LEDが黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。

デバイスの充電／通知LEDは、デバイスのバッテリー充電状態を示します。バッテリーは、完全に使い切った状態から約45分で70%充電済みになります。最適な充電結果を得るには、Zebraの充電用アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープモードにして、室温でバッテリーを充電してください。

予備バッテリーの充電

このセクションでは、予備バッテリーの充電について説明します。最適な充電結果を得るには、Zebraの充電用アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。

- 1 予備バッテリーを予備バッテリースロットに挿入します。



- 2 バッテリーが正しく装着されていることを確認します。

バッテリーは、完全に使い切った状態から約4時間で90%充電済みになります。多くの場合、90%の充電で日常的な使用には十分です。使用プロファイルに応じて、100%のフル充電を行うと、約14時間連続で使用可能な場合があります。

充電の表示

充電／通知LEDは充電ステータスを示します。

表4 充電／通知LEDの充電インジケータ

状態	LED	表示
オフ	○	デバイスは充電されていません。デバイスがクレードルに正しくセットされていないか、電源に接続されていません。充電器／クレードルに電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4秒に1回点滅)	●	デバイスが充電中です。

表4 充電／通知LEDの充電インジケータ (Continued)

状態	LED	表示
緑色点灯		充電が完了しました。
赤色点灯		デバイスは充電中であるかフル充電されていますが、バッテリーの寿命が近づいています。
赤色の速い点滅 (1秒に2回点滅)		充電エラーが発生し、バッテリーパックの寿命が近づいています。次のような場合にこの状態になります。 ・ 温度が低すぎるか、または高すぎる。 ・ 充電完了までの時間が長すぎる（通常は12時間）。

充電時の温度

バッテリーの充電は、5°C～40°C（41°F～104°F）の温度で行います。デバイスまたはクレードルは常に、安全かつインテリジェントにバッテリー充電を実行します。高温時には、バッテリーを許容温度に保つために、デバイスまたはクレードルのバッテリーの充電が、短時間で有効と無効に交互に切り替わる場合があります。温度異常によって充電が無効になった場合は、デバイスとクレードルのLEDがエラー表示になります。

充電アクセサリ

デバイスおよび／または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

説明	部品番号	充電中		通信	
		デバイス	予備バッテリー	USB	イーサネット
1スロット高速充電クレードル	CRDCUP-TC5A-1DF	あり	なし	あり	なし
1スロット高耐久性高速充電クレードル	CRDCUP-TC5A-1DF-B	あり	なし	あり	なし
1スロットイーサネット充電クレードル	CRD-TC5A-1SE	あり	なし	あり	あり
1スロットイーサネット高耐久性充電クレードル	CRD-TC5A-1SE-B	あり	なし	あり	あり
1スロット2デバイス充電クレードル	CRDCUP-TC5A-2D	あり	なし	なし	なし
1スロット2デバイス高耐久性充電クレードル	CRDCUP-TC5A-2D-B	あり	なし	なし	なし
1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル	CRD-TC5A-2SC1B	あり	あり	なし	なし
1スロットのデバイスと予備バッテリー用の高耐久性充電クレードル	CRD-TC5A-2SC1B-B	あり	あり	なし	なし

説明	部品番号	充電中		通信	
		デバイス	予備バッテリー	USB	イーサネット
1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット充電クレードル	CRD-TC5A-2SE1B	あり	あり	あり	あり
1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット高耐久性充電クレードル	CRD-TC5A-2SE1B-B	あり	あり	あり	あり
4スロットバッテリー充電器	CRDCUP-TC5A7A-4B	なし	あり	あり	なし
5スロット高速充電クレードル	CRD-TC5A-5SC5DF	あり	なし	なし	なし
5スロット5デバイス高速充電高耐久性クレードル	CRD-TC5A-5SC5DF-B	あり	なし	なし	なし
5スロットイーサネット充電クレードル	CRD-TC5A-5SE5D	あり	なし	なし	あり
5スロット5デバイスイーサネット高耐久性充電クレードル	CRD-TC5A-5SE5D-B	あり	なし	なし	あり
5スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル	CRD-TC5A-5SC5D5B	あり	あり	なし	なし
5スロットの5デバイスと予備バッテリー用高耐久性充電クレードル	CRD-TC5A-5SC5D5B-B	あり	あり	なし	なし
5スロット10デバイス充電クレードル	CRD-TC5A-5SC10D	あり	なし	なし	なし
5スロット10デバイス高耐久性充電クレードル	CRD-TC5A-5SC10D-B	あり	なし	なし	なし

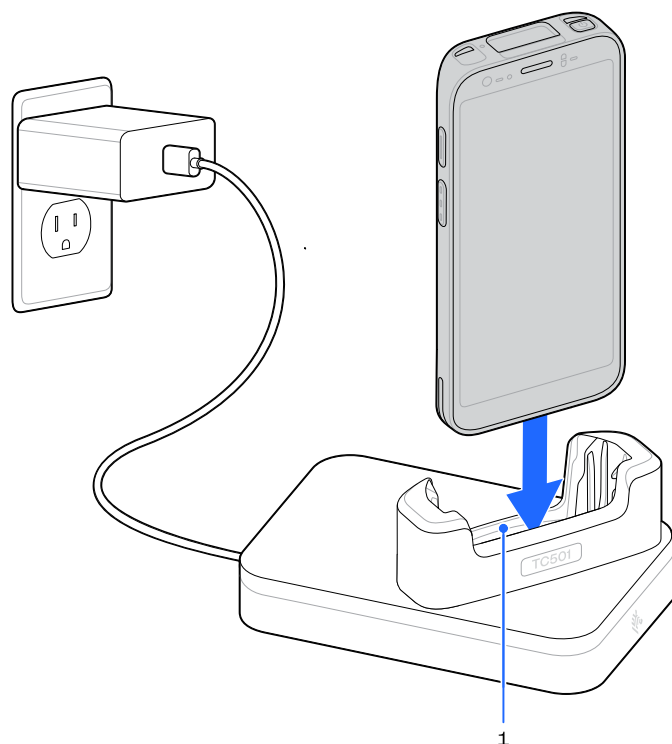
1スロット高速充電クレードル

このセクションでは、1スロット高速充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図4 1スロット高速充電クレードル



1	デバイススロット
---	----------



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

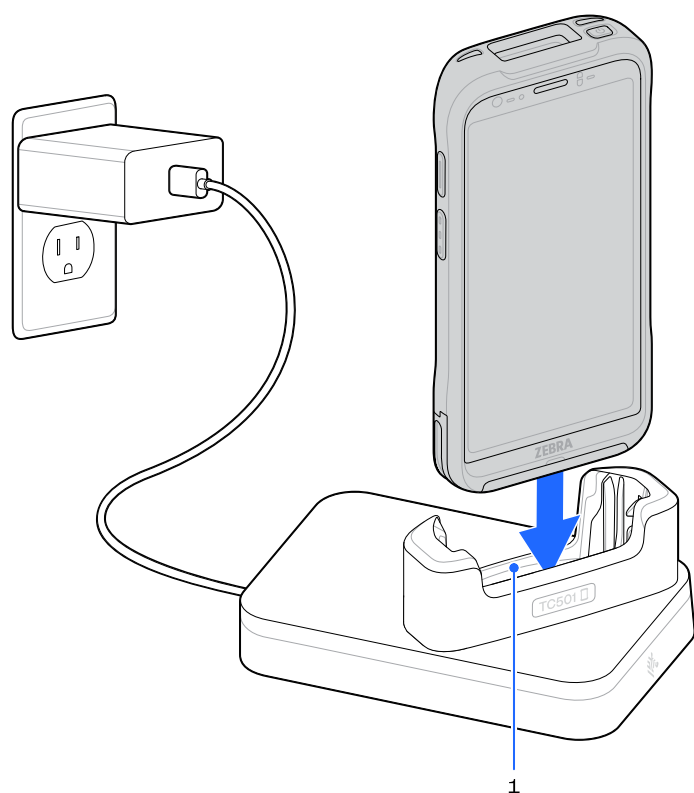
1スロット高耐久性高速充電クレードル

このセクションでは、1スロット高耐久性高速充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図5 1スロット高耐久性高速充電クレードル



1	デバイススロット
---	----------



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

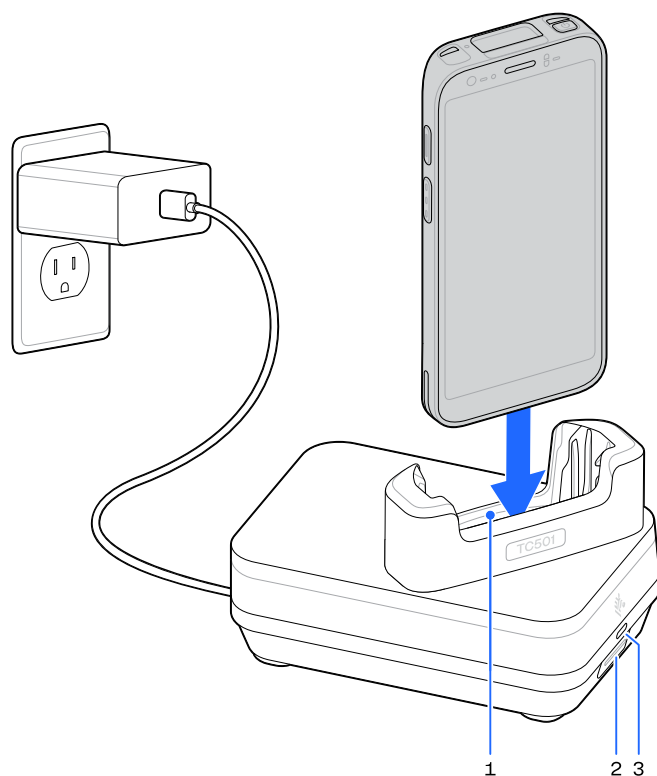
1スロットイーサネット充電クレードル

このセクションでは、1スロットイーサネット充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図6 1スロットイーサネット充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

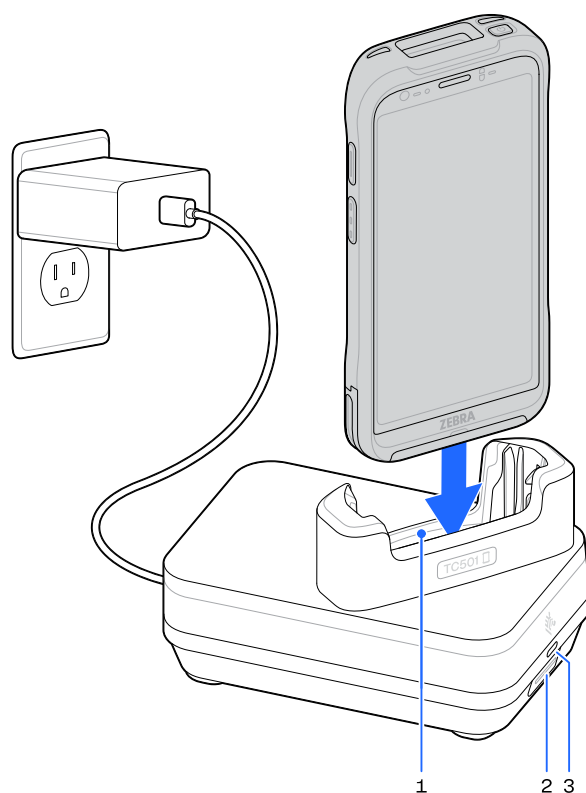
1スロットイーサネット高耐久性充電クレードル

このセクションでは、1スロットイーサネット高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図7 1スロットイーサネット高耐久性充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

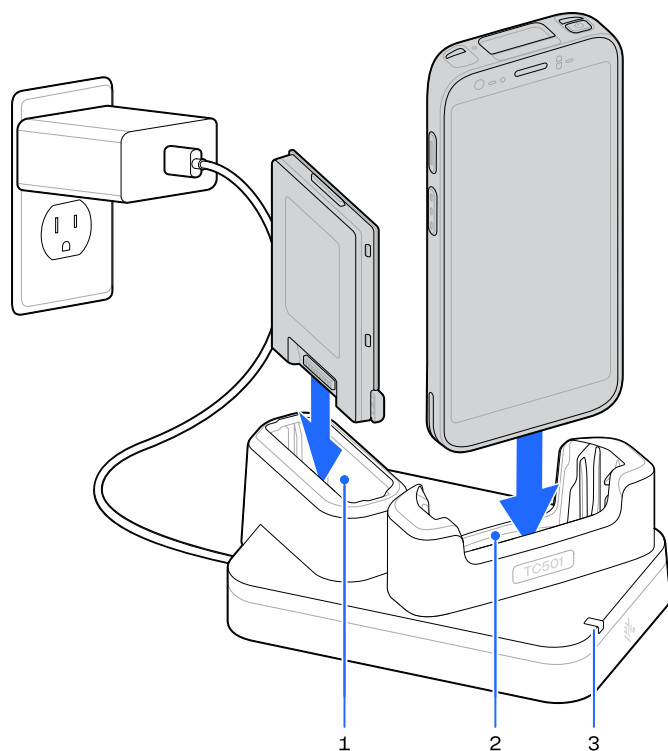
1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル

このセクションでは、1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図8 1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

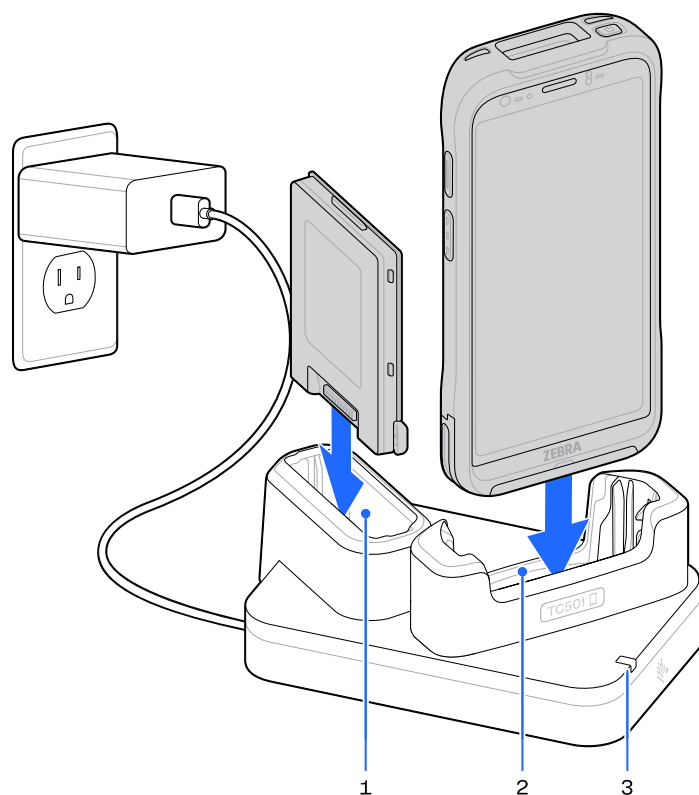
1スロットのデバイスと予備バッテリー用の高耐久性充電クレードル

このセクションでは、1スロットのデバイスと予備バッテリー用の高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図9 1スロットのデバイスと予備バッテリー用の高耐久性充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

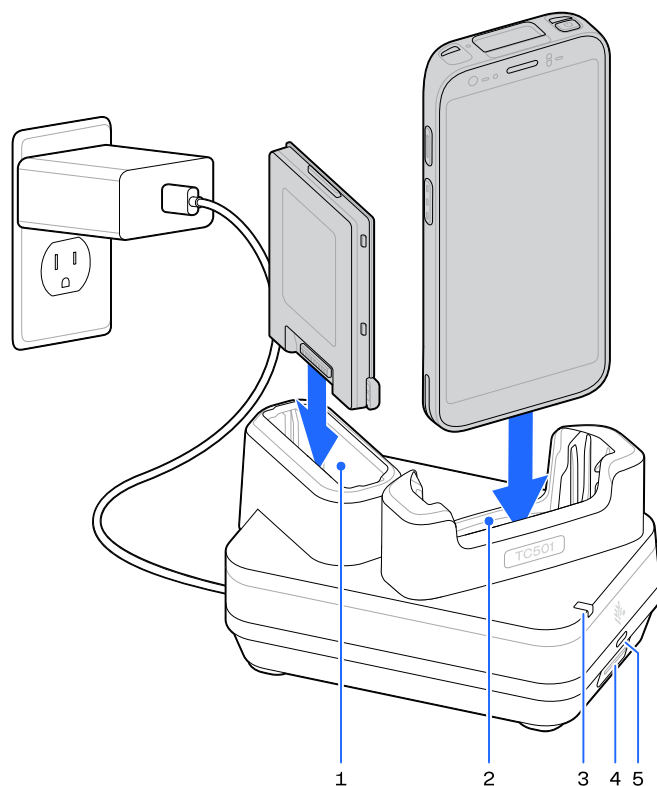
1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット充電クレードル

このセクションでは、1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図10 1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED
4	クレードルカップリリースボタン
5	電源LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

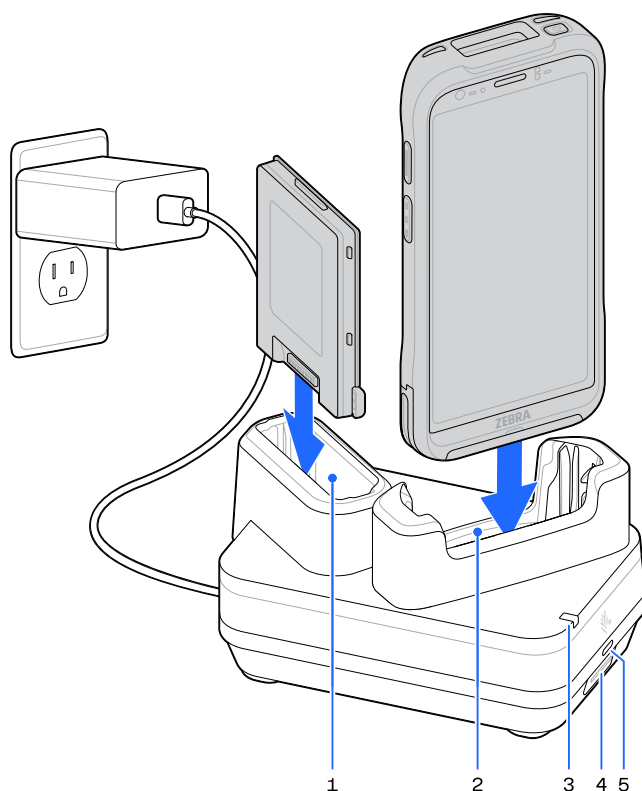
1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット高耐久性充電クレードル

このセクションでは、1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図 11 1スロットのデバイスと予備バッテリー用イーサネット高耐久性充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED
4	クレードルカップリリースボタン
5	電源LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

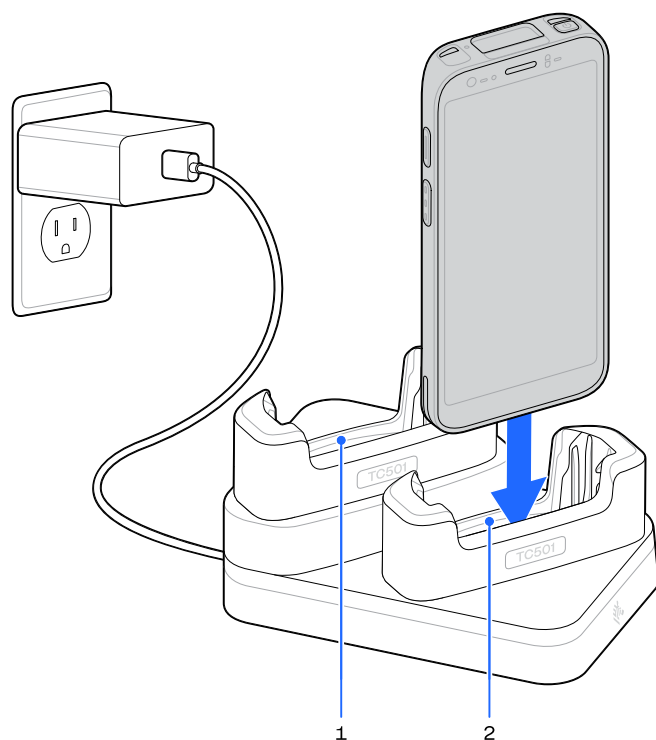
1スロット2デバイス充電クレードル

このセクションでは、1スロット2デバイス充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図12 1スロット2デバイス充電クレードル



1	デバイススロット
2	デバイススロット



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

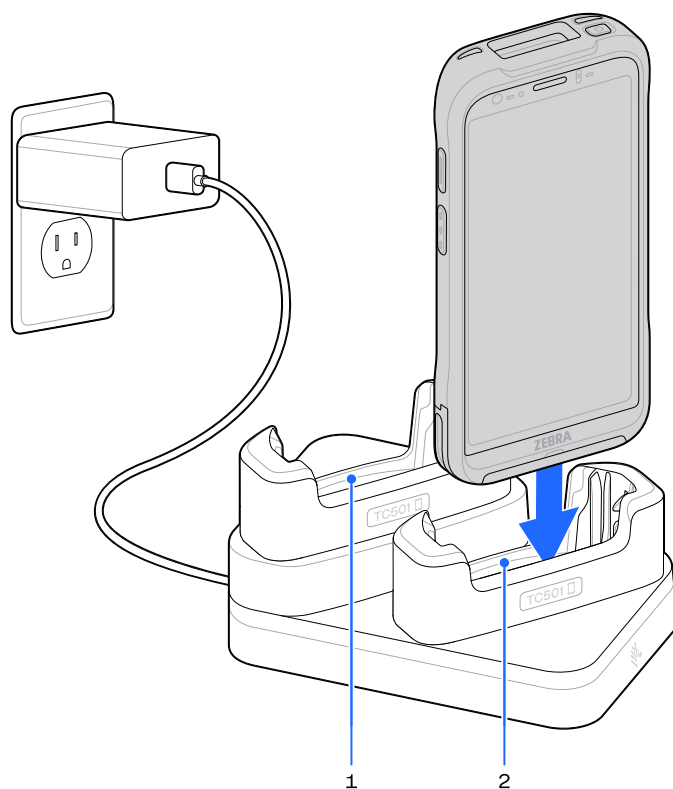
1スロット2デバイス高耐久性充電クレードル

このセクションでは、1スロット2デバイス高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図13 1スロット2デバイス高耐久性充電クレードル



1	デバイススロット
2	デバイススロット



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

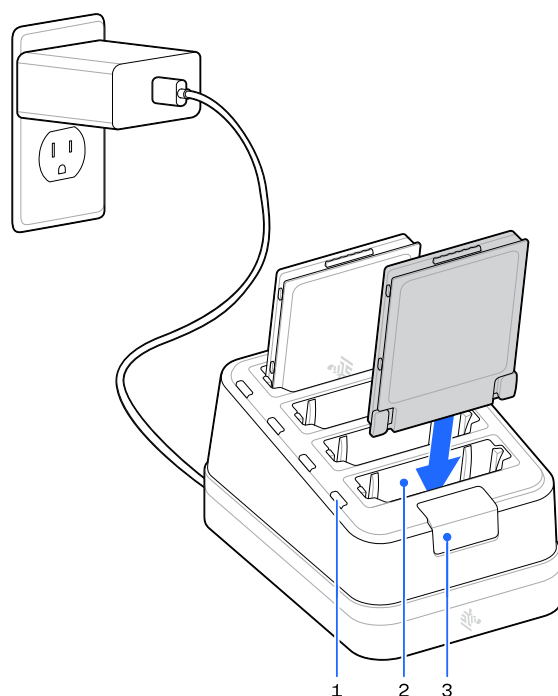
4スロットバッテリー充電器

ここでは、4スロットバッテリー充電器を使用して最大4台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』の「」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図14 4スロットバッテリー充電器



1	バッテリー充電LED
2	バッテリースロット
3	ファームウェアの更新ポート



注: スロットにバッテリーを正しく挿入して充電します。

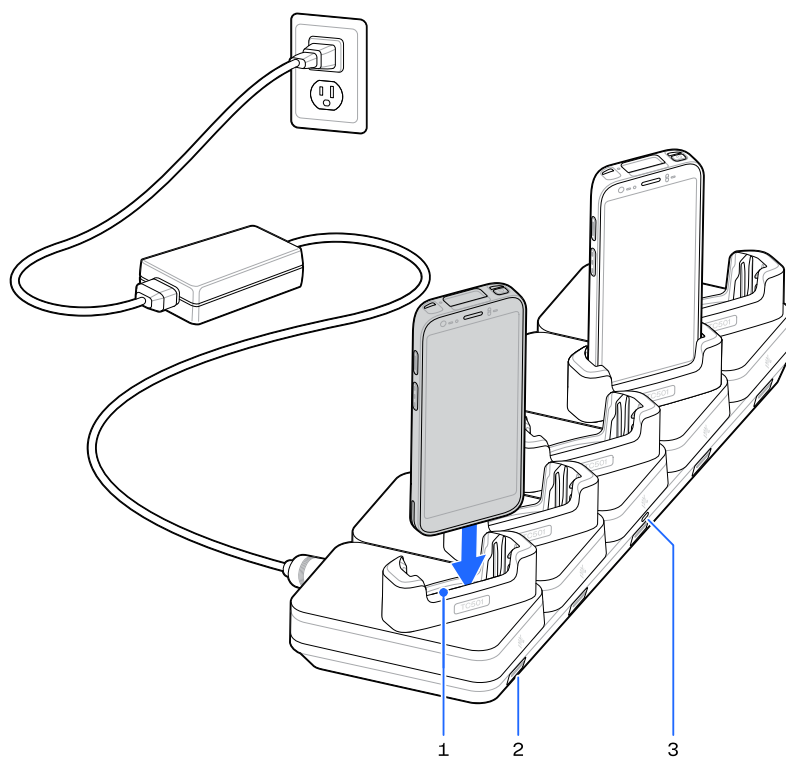
5スロット高速充電クレードル

このセクションでは、5スロット高速充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図15 5スロット高速充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

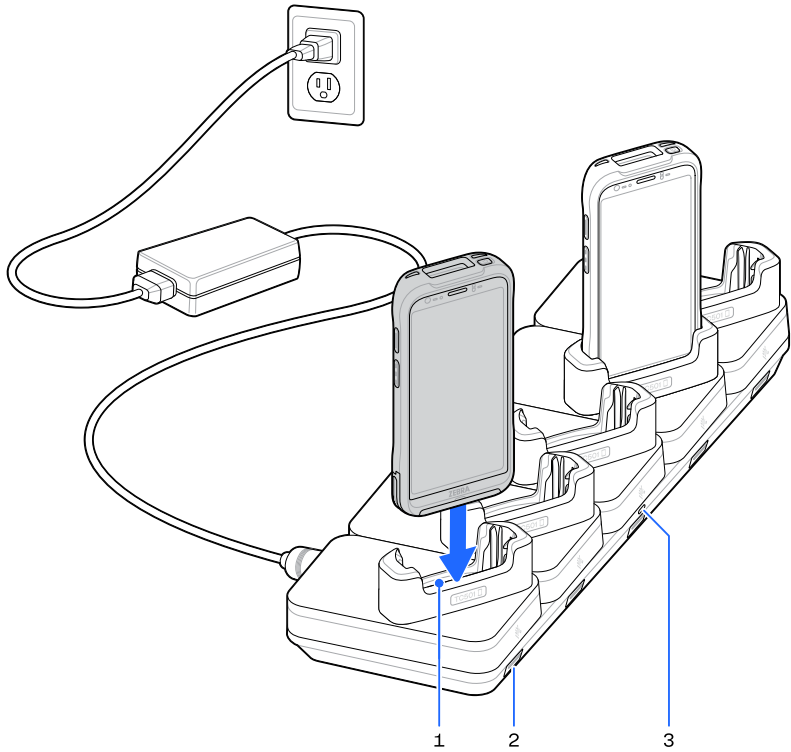
5スロット高耐久性高速充電クレードル

このセクションでは、5スロット高耐久性高速充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図16 5スロット高耐久性高速充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

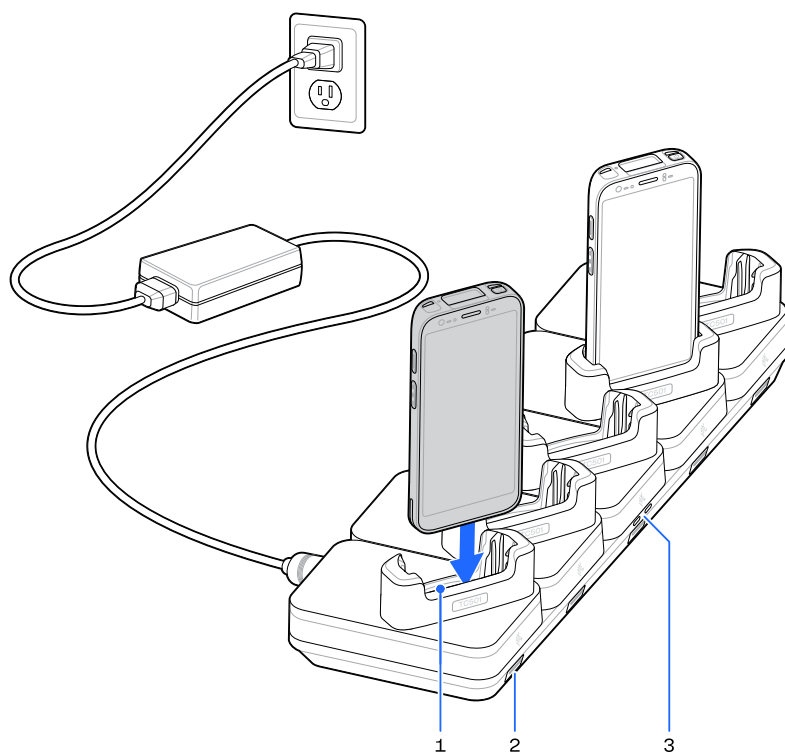
5スロットイーサネット充電クレードル

このセクションでは、5スロットイーサネット充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図17 5スロットイーサネット充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

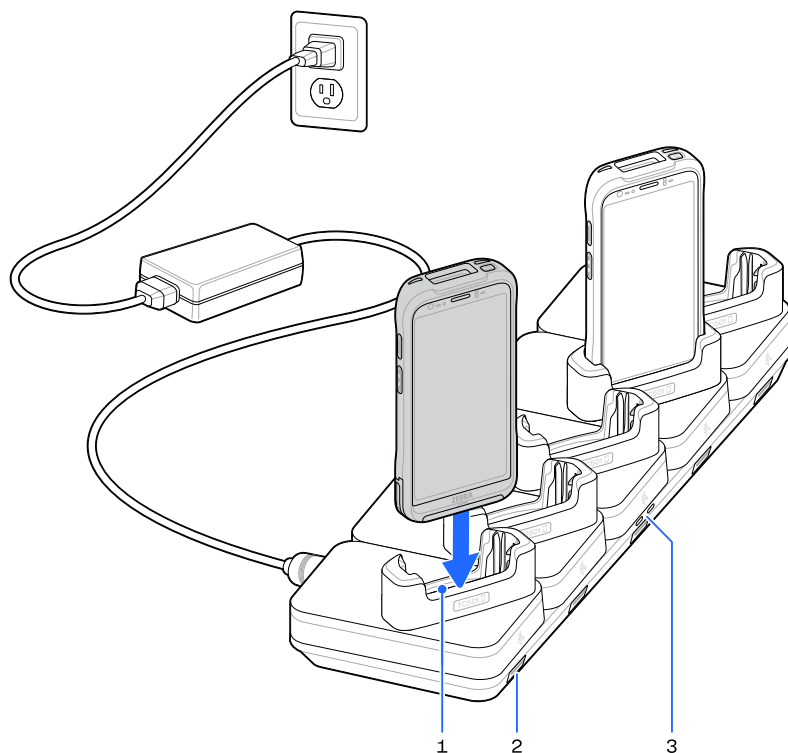
5スロットイーサネット高耐久性充電クレードル

このセクションでは、5スロットイーサネット高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図18 5スロットイーサネット高耐久性充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

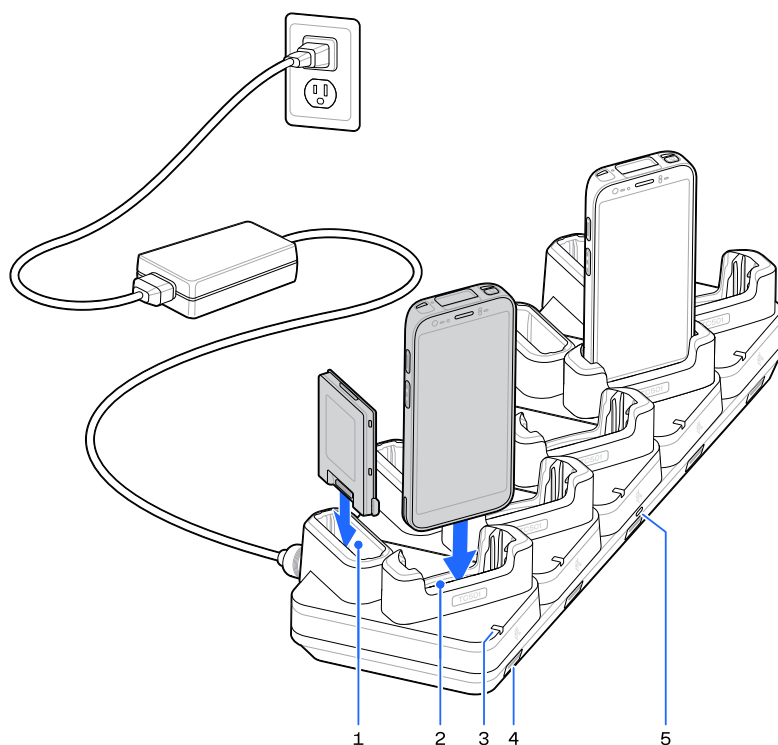
デバイスと予備バッテリー用の5スロット充電クレードル

このセクションでは、デバイスと予備バッテリー用の5スロット充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図19 デバイスと予備バッテリー用の5スロット充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED
4	クレードルカップリリースボタン
5	電源LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

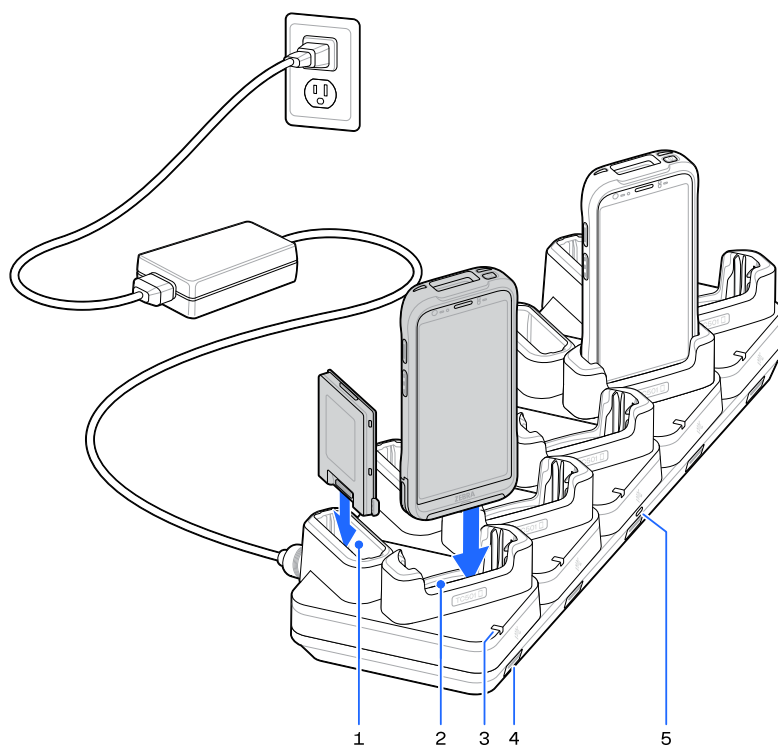
デバイスと予備バッテリー用の5スロット高耐久性充電クレードル

このセクションでは、デバイスと予備バッテリー用の5スロット高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図20 デバイスと予備バッテリー用の5スロット高耐久性充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED
4	クレードルカップリリースボタン
5	電源LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

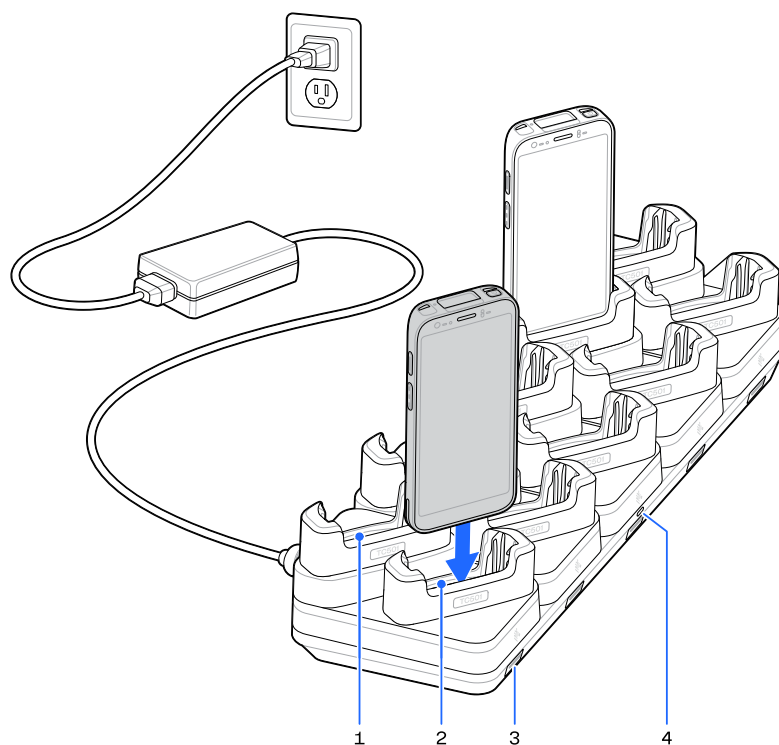
5スロット10デバイス充電クレードル

このセクションでは、5スロット10デバイス充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図21 5スロット10デバイス充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	クレードルカップリリースボタン
4	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

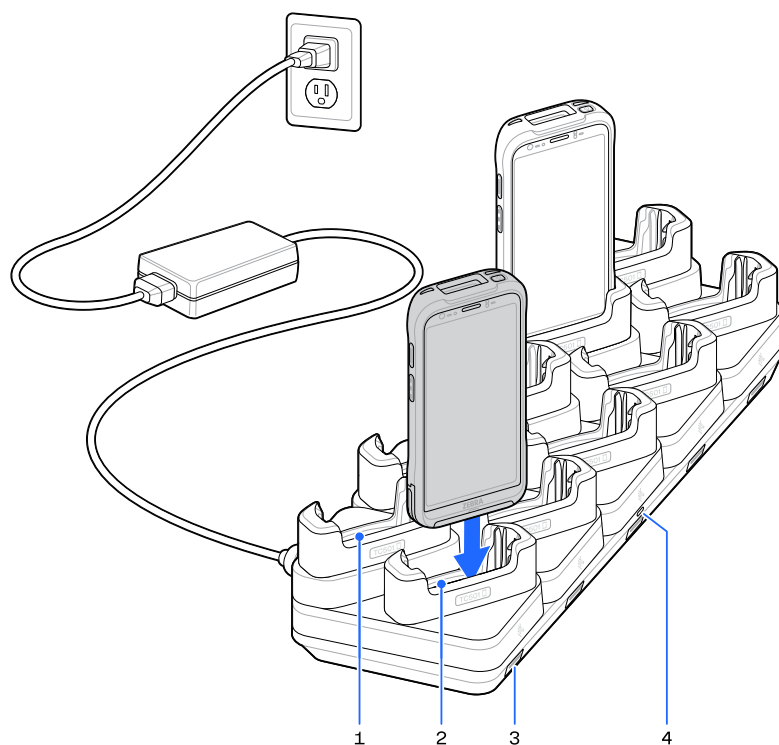
5スロット10デバイス高耐久性充電クレードル

このセクションでは、5スロット10デバイス高耐久性充電クレードルについて説明します。



注意: 『製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図22 5スロット10デバイス高耐久性充電クレードル



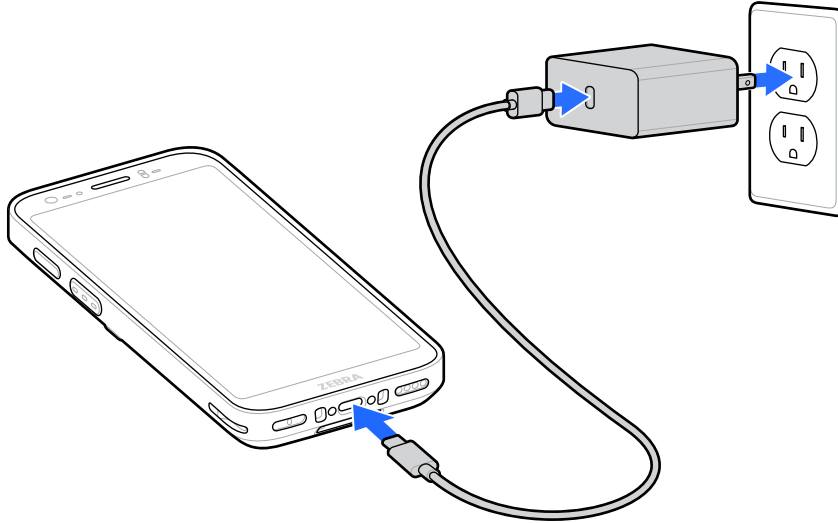
1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	クレードルカップリリースボタン
4	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

充電／USB-Cケーブル

充電／USB-Cケーブルは、デバイスのバッテリーを充電し、デバイスとホストコンピュータ間のデータ転送を容易にするために使用されます。



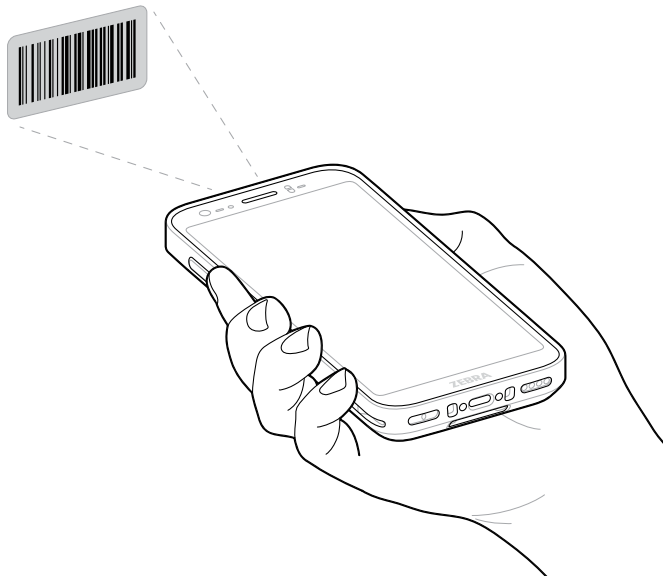
デバイスによるスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。このデバイスには、ユーザーがイメージャでバーコードデータを読み取ったり、バーコードコンテンツを表示したりできる、DataWedgeアプリケーションが含まれています。



注: AC670イメージャには緑色のダッシュドットダッシュ照準が表示されます。SR500およびSR560イメージャには赤色のドット照準が表示されます。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキストフィールドがフォーカスされている（テキストカーソルがテキストフィールドにある）ことを確認します。
2. 本デバイスの上部にある読取窓をバーコードに向けます。



3. スキャンボタンを長押しします。

照準を合わせるために、SR500およびSR560イメージャでは赤色のLED照準パターンと赤色の照準ドットが点灯し、AC670イメージャでは緑色のLED照準パターンと緑色のダッシュドットダッシュが点灯します。



注: デバイスがピックリストモードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で可視性を向上するために使用されます。

図 23 照準パターン

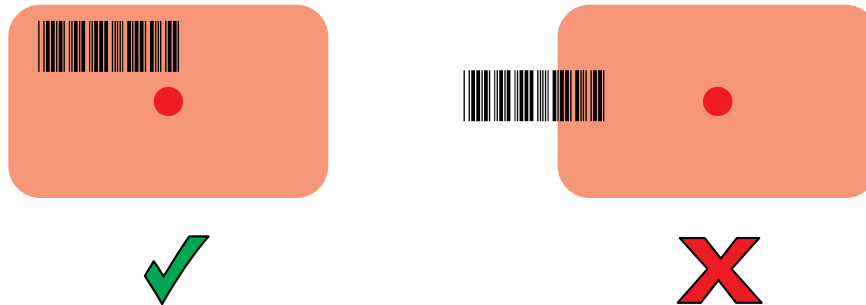
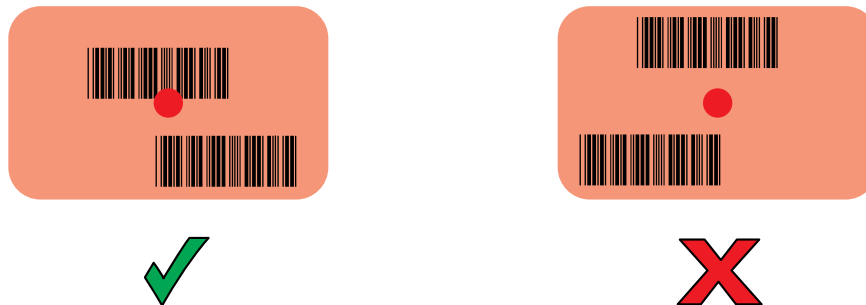


図 24 複数のバーコードが照準パターン内にあるピックリストモード



5. デフォルト設定の場合、データ収集LEDが緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャンボタンを放します。

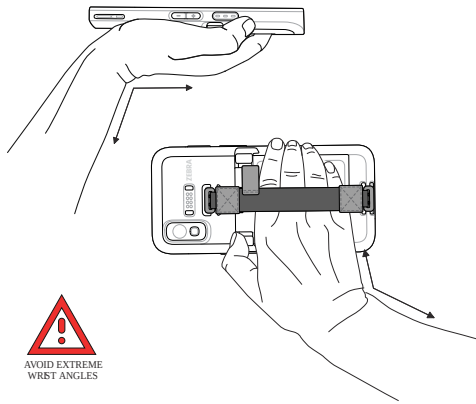


注: イメージャの読み取りは通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合、スキャンボタンを押し続けると、デバイスがデジタル写真（画像）を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコードコンテンツデータが、テキストフィールドに表示されます。

人間工学に基づいた考慮事項

デバイスを使用する際は、手首を極端に曲げないでください。



サービスに関する情報

ご使用の装置に問題がある場合は、最寄りのZebraグローバルカスタマーサポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、zebra.com/supportに記載されています。

サポートにお問い合わせの際は、次の情報をご用意ください。

- ユニットのシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェア/ファームウェアのタイプまたはバージョン番号

Zebraが、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

問題がZebraカスタマーサポートによって解決できない場合は、修理のためにご使用の機器をご返送いただく必要がある場合があります。サポートから具体的な手順をお伝えします。承認された発送用段ボール箱が使用されていない場合、Zebraは輸送中に発生した損傷に対して一切責任を負いません。製品の輸送が不適切な場合、保証が無効になる可能性があります。

Zebraのビジネスパートナーから購入されたZebra製品については、サポートについて担当のビジネスパートナーにお問い合わせください。

